

2025年度日系社会研修 コース概要

NO.	47
所管センター	横浜
分野	環境
研修コース名（日）	環境教育指導者養成研修
受入人数	6～12
受入時期	下半期
来日日	2026年1月18日（日）
帰国日	2026年2月11日（水）
提案団体（日）	公益財団法人キープ協会
提案団体 ウェブサイトアドレス	https://www.keep.or.jp/
研修員必要資格	環境系・教育系いずれかの大学またはそれに準ずる学校の卒業者が望ましい。
研修員に必要な 実務経験年数	現場経験1年以上のものが望ましい。
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	N5
英語能力（選択）	不問
研修目標	研修員が環境教育指導者（インタープリター）として、必要な基礎技術と知識を取得する。
期待される成果 （習得する技術）	・環境教育の概要を理解する。 ・インタープリテーション（定義、種類、原則、資質、素材の理解、対象の理解、コミュニケーション、プログラムデザイン等）の基礎知識を理解する。 ・キープ協会の実践を参考に、自国で学校等の現場で環境教育プログラムを行うことができる。
研修計画 （内容）	1. 講義：環境教育概論、インタープリテーション概論、展示・教材、プログラムデザイン、体験学習法、エコツーリズム概論 2. 実習：体験：環境教育プログラム（ガイド型・クラフト型・ワークショップ型）、プログラムの相互実施と練り直し、研修成果のまとめ 3. 見学：キープ協会各施設、田貫湖ふれあい自然塾、環境省生物多様性センター、富士山科学研究所、清里聖ヨハネ保育園 4. 発表：研修成果のまとめ
本研修実施の意義 中南米日系社会への裨益効果	本研修で身につくインタープリテーションを中心とした環境教育の知識と技術は、帰国後、住民や子供たちへの直接的な啓発活動や、環境教育のプログラム開発が期待される。各地域特性にあった、半日～数日間のプログラムや、教員が学校等で利用できるプログラムの開発である。また、そうしたプログラムを教員などの指導者へ環境教育トレーニングへの活用が期待される。日系研修員が研修で習得した手法を実施し、知識を情報発信することは、中南米の環境保全に影響を与えるとともに、現地社会への貢献に繋がることが期待できる。 また、環境教育の知識と技術は、様々な場作りの基礎技術ともなり、多様な人と人、人と場をつなぐことによるコミュニティの活性化が期待できる。 環境問題が、経済・文化・地域の課題とも関わっていることから、パートナーシップを組んで、課題解決にあたる必要がある。そうしたコーディネートの力が、本研修の中で培われる。
応募希望者への特記事項	